



お伽訓話

曹長と國王

硯 山 人

ある所に大層威張る事の好きな兵隊さんが居りまた。此の兵隊さんは日本で申しまする丁度曹長位の官職の人で御座りました。或る大變に雨の降る日の事。此の兵隊さんが往來を歩いて居りますと。外套をスツポリ着た一人の軍人が道を尋ねました。此の兵隊さんは日頃の癖としまして大威張で

『左へ行つて突きあたつたら右へ行けばちきだ』

とまるで命令でもするやうに教へてやりました。ところが此の軍人さんは大層丁寧に御禮を云つてから。

『儲て。あなたの御官職は？』

と尋ねました。曹長はまた大威張で。

『あてゝ見給へ』

といよくそつくり反つて申しますと、

『二等卒ですか』

『もうと上だ』

『では。一等卒ですか』

『まだ。上だ』

『では。上等兵？』

『まだ』

『軍曹？』

『もつと。上だ』

『では。曹長？』

『まづ。其の邊だ』

軍人はどうも失禮と行き過ぎやうとしますると兵隊さんは

『こらく。御前の官職は何だ。人のばかり聞く法はない』

『僕が。あてゝ見やう。二等卒だらう』

『まだ。上です』

『一等卒』

『まだ。上へ』

『上等兵か』

『まだ』

『軍曹』

『まだ。うへ』

『曹長ですか』

『まだ。うへ』

軍曹は大層契驚致しました』

『では。少尉殿ですか』

『まだ。うへ』

『中尉殿ですか』

『まだ』

『大尉殿ですか』

『まだ』

軍曹は顔の色を變へて驚きました

『では。少佐殿？』

『まだ。うへ』

『中佐殿ですか』

『まだ。うへ』

『大佐殿ですか』

『まだ。うへ』

流石大威張の兵隊さんも小さくなつて仕舞ました

『少將閣下ですか』

『まだ。うへ』

『中將閣下ですか』

『まだ。うへ』

『では。大將閣下でゐらつしやいますか』

『まだ。うへ』

『あゝ。あなたは。陛下でゐらつしやいますか』

傲慢な兵隊さんも顔色土の如くになり御赦を乞ひました。此の軍人は此の國の皇帝であつたのです。此の兵隊さんは非常に後悔し其の後どんな人にも威張ると云ふ事はありませんでした。